

# キラリ! 輝く人たち

第12回を迎える「古河菊まつり」。今年は11月23日まで、ネーブルパークで開催されています。この菊まつりの菊約1,800鉢は、古河市菊花会の会員により育てられています。市内外の愛好家で構成される菊花会の皆さんに菊に対する思いを伺いました。

## 歴史ある菊まつり

古河菊花会は昭和28年に発足。田町福寿稲荷神社境内で第1回の菊花展示会が開かれました。その後、雀神社、古河公方公園に会場を移し毎年開催されてきました。古河菊花会会員の一部を含む総和菊花会は平成4年に発足。毎年ネーブルパークで総和菊まつりを開催し、多くの観覧者を魅了しました。

そして、平成18年に「古河市菊花会」として統合。28人の会員が一体となり菊花育成に励んでいます。「古河菊まつりは菊を理解してもらおう大きなイベントだ」と力強く話してくれました。

## 13カ月かかる菊づくり

「菊は多くの種類があるけれど、やはり大菊が基本だろうね」「いい菊を咲かせるには、土づくりが7割だよ」「1年じゃ足りないよ」と言う会員の皆さん。

まず、秋に落ち葉を集めて、冬に発酵させ肥料を作ります。できた肥料は腐葉土となり、赤玉と混ぜ合わせ培養土にします。この土の出来が菊の成長に大きく影響します。培養土を鉢に入れてさし芽をし、8cm程になる約20日後に5寸※1鉢へ植え替え、20cm程になる時期に9寸※2鉢に定植します。10月から11月には大輪の菊が咲き誇り、観覧者の目を楽しませてくれます。

こんな菊花の裏舞台には愛好家の日々惜しまぬ努力と菊への愛情が溢れています。

※1 5寸=約15cm ※2 9寸=約27cm

## 「菊と豊かな人生を」

### 古河市菊花会



## 菊とともに

菊を育てるきっかけは、「父も育てていた」「近所の人に苗をもらった」という会員が多いそうです。それから30年、40年と続けている理由は「次はもっといい花を、という自分との戦い」「健康のため」「やっぱり賞を取りたいという気持ち」などさまざまです。

約5年前、より身近に感じ魅力を知ってほしいとの願いから、市内5つの幼稚園などに毎年20鉢を寄贈。園を訪問し、花の色や、水のやり方など子どもの目線に合わせた話を楽しく伝えています。「寄贈した菊が100鉢程になる園もあり、よく育ててくれているよ」と笑顔で嬉しそうに話す様子が印象的でした。

今年の菊まつり、それを支える古河市菊花会の皆さんのことを思いながら、ご覧になってはいかがでしょうか。



▲直径約15cmにもなる大菊

## 図書館のオススメ

### 【一般書】

#### ○歴メシ!

遠藤雅司 著  
最古のパン、中世のシチュー、ルネサンスの健康食……。オリエント&ヨーロッパ世界に存在した8つの時代の歴史料理40品のレシピと共に、当時の食文化などを解説。

出版社…柏書房

分類…383エ

#### ○ネメシスの使者

中山七里 著  
重大事件を起こした懲役囚の家族が相次いで殺され、犯行現場には「ネメシス」の血文字が残されていた。犯人の動機は義憤か、復讐か。渡瀬警部が犯人を追う。社会派ミステリ。

出版社…文藝春秋

分類…Fナ



### 【児童書】

#### ○おもいやりの絵本

WILLこども知育研究所 編・著  
おもいやりを発揮するために必要な「想像力」「観察力」「気づきの力」を養う本。「かぞく」「友だち」「みんな」の3章に分けて、まわりの人の気持ちを場面ごとにわかりやすく紹介する。出版社…金の星社 分類…150

#### 【絵本】

#### ○はくぶつかんのよる

イザベル・シムレール 文・絵  
夜、静かな眠りにつくコンフリュアンス博物館。ところが1匹の黄色いチョウが逃げ出したのをきっかけに、あらゆる生き物や化石や道具たちが動き出し……。『あおのじかん』の作者が描く、めくるめく幻想的な世界。出版社…岩波書店 分類…Eハ

とねミドリ館

## 注目 企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～  
「もっと多くの技術を身に付けたい」

有限会社野澤鉄工 岡村嘉和 さん

約50品番の管理に携わってもらっています」と、大きな期待を寄せています。

尊敬する人は同じ部署の上司。「プログラミングに精通しているので、見習うことばかりで勉強になります」と話します。「取引先の要望どおりに正確に図面を作成するところもすごい。私もいずれは図面を作れるようになりたいです」と意気込み新たに、今日もひた向きに頑張ります。

■プロフィール  
動物が好きで、休日はお気に入りの一眼レフカメラで写真を撮っています。22歳・久能在住。



工業高校出身で、機械を学んだりプログラミングの授業を受けたりしていた岡村さん。「勉強したことを生かせる仕事に就きたい」と、自動車部品を製造する地元企業に就職しました。

入社4年目の今は、プログラミングソフトを使ってエンジン部品の寸法管理をしています。100分の1の単位で誤差を発見・選別し修正加工する、集中力と根気が必要な仕事です。

「1日にチェックする部品は250個。鉄の塊が精緻な形に出来上がるのを見ると、とても嬉しい」とやりがいを感じている岡村さん。日頃の仕事に対する誠実な姿勢に、専務も「会社で扱う数多くの部品のうち、